

項	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等	
一人一人の自立に向けた力を伸ばす 特色ある神戸の教育を更に発展させる	身近な環境に主体的に関わり、心も体も弾ませて友達と一緒に生き生きと遊ぶ子供をめざして	身近な自然との関わり	園外保育や近隣散策に出掛けて自然と触れ合った。	四季折々の自然に触れることで、身近な生き物や植物に気付くことが関わる楽しさにつながった。	A	幼児が興味や関心をもったことをすぐに実現できるような準備や環境を整えておくことが必要である。	取組んでいる様子をきめ細やかに発信するべきである。	
			米や野菜などの植栽に取組んだ。	植物や野菜などを自分たちで育てることで食物への興味や関心をもつことができた。	A	収穫したり実際に味わったりしながら、食べ物への親しみをより深め命の連続性を感じられるようにする。	自分たちで育て収穫する喜びを味わってほしい。	
			小中学生と一緒に田植えや稲刈り、黒豆の収穫などの活動を楽しんだ。	地域の特色や併設学校園間の交流の特色を生かした取り組みを実践することができた。	A	自然体験が身近にできる環境を大切に、収穫までの生長する様子に興味や関心をもって関わっていけるようにする。	幼稚園から中学校までの子供たちの育ちをしっかりと支えてほしい。	
		様々な人との関わり	併設学校園の良さを生かし、小中学校の児童生徒と様々な行事に参加した。	一緒に行事に参加したり、交流する機会をもつことで、自然な関わりがもてるようになっていく。	A	それぞれの子供にどのような育ちを目指しているのかを共通理解し、取組んでいくことが必要である。	併設校園ならではの温かい関係性を生かし、心豊かな子供に育つよう取組んでほしい。	
			地域の行事に参加し、地域の方とふれ合った。	地域の方とふれ合う中で大切にされている温かさや喜びを感じることができた。	A	受け入れてもらうことが当たり前とならないよう相手のことを思いやったり、挨拶が自分からできる積極的な姿につながるようにする。	少人数であるが、地域の行事等には積極的に参加し、地域の伝統や文化を繋いでほしい。	
			北神地区の幼稚園児と交流する場をもった。	繰り返し交流することで、同じ学年の友達とのやりとりする楽しさや親しみを感ずることができた。	A	小規模の幼稚園だからこそできる公共交通機関を使つての移動のしやすさを生かし、他園との交流や連携を継続していく	同年代の友達といろいろな遊びを見つけて一緒に遊ぶ楽しさを味わってほしい。	
		表現活動の充実	思ったり感じたりしたことを体や言葉で表現する。	自分の思いをいろいろな方法で表現し、伝える楽しさは味わっている。	A	相手の話に耳を傾けたり、思いを受け止めたりしようとする気持ちを育て、幼児同士で遊びを進めていく楽しさにつなげていく。	伸びやかに育っている子供たちに対するきめ細やかな指導が今後も大切にしたい。	
			お話の世界でイメージを膨らませて遊ぶ	友達と一緒に絵本やお話の世界で遊ぶ楽しさを共有しながら、遊びを進めていくことを楽しんだ	A	幼児が自信をもって取組めるよう、一人一人の頑張っていることを存分に認めたり、気持ちを読み取ったりしながら、遊び込める環境を整えていく。	挨拶ができる子に育っているが、その場の雰囲気に応じた態度を身に付けられるようになってほしい。	
			感動体験を絵画や製作活動で表現する	友達との共通体験したことをいろいろな素材や道具などを使って試行錯誤しながら作る楽しさを味わった	A	幼児が興味や関心をもち取組みたいと思ったことがすぐに実現できるよう、素材や空間、場など、周到な準備が必要である。		
		教職員・学校の魅力と実力を磨き高める	幼児の姿を読み取る力を付ける	身近な環境に関わり遊び込むための環境づくり	幼児が自分の好きな遊びを安全な環境で思う存分できるようにはどのようなことが必要なのか検討し、取組んだ。	B	幼児の興味や関心をもった遊びが充実したものとなるよう、環境の構成を教職員間で話し合い、改善したり見直したりしながら進めていく。	八多幼稚園の特色を出すことが大切である。少人数ならではのきめ細やかな保育に取組んできた今年度の遊びの姿や生活の様子をいろいろな方法でアピールし、発信していくべきである。
				友達の思いに気付き、互いの良さを認め合う仲間づくり。	遊びや生活の中で、友達とやり取りをしながら、相手の気持ちに気付いたり、自分の思いを素直に出したりできる仲間関係が築きつつある。	A	少人数だからこそ、互いの距離が近く、相手の思いを気付きやすいことが、課題となる場合もある。相手の思いを受け止めた上で自分の気持ちをどのように表すべきなのかを考えられる力を育んでいきたい。	
			職員会の回数を減らし、打合せの時間を縮小する。	保育終了後の業務の隙間の時間を有効的に使い、打合せをする。	研修したことを職員に伝え、共通理解できるようにする。	B	打合せで見つけた課題についてはすぐに対応し、連携をとりながら迅速かつ的確に進めていく。	教職員は連携をとりながら子供たちの育ちをしっかりと支えてほしい。
同じ研修会は必要人数のみ出席し、出張回数を減らす。				A	研修した内容を分かりやすく簡潔に伝える力をつける			
市民が自ら学び子供たちの育ちを共に支える	保護者参加型の保育参観及び様々な親子教室の開催	地域の人材や環境などの資源を生かした保育	地域の方から地域特産の米や野菜などの育て方を教わり、自分たちで育てたり収穫したりする楽しさを味わった。	A	地域の方と信頼関係を築き、また、地域の力をお借りしたり協力を得たりして、八多に育つ子供たちが地域の活動に参加する楽しさを味わえるようにし、地域に根差した幼稚園をめざしたい。	子供は地域の宝である。幼稚園は地域や保護者の願いをしっかりと受け止め、保育の取組みを見直したり工夫したりしながら、公立幼稚園のよさを発信し、園児の確保につなげてほしい。		
		幼稚園の行事については保護者と話し合いを重ねると共に幼稚園が行事についてどのようなねらいをもっているかを共通理解できるように連携をとっている。	園児が生き生きと自分らしさを発揮し、少人数ならではの行事をどのように取り組んでいくべきかを保護者の意見や思いを受け止め、話し合いながら進めていくことが大切である。	A				